

研究機関名：仙台医療センター

受付番号：

【研究課題名】

機能性副腎皮質疾患におけるステロイドホルモン過剰・腫瘍発生の病態解明

【研究期間】

西暦 2023 年 9 月(倫理委員会承認後) ～ 2025 年 3 月

【研究の対象】

予定症例数：2000 年 1 月～2025 年 3 月までの期間において手術適応となった以下の症例を対象とする。原発性アルドステロン症：150 例（各施設約 10-20 例ずつ）、Cushing 症候群：150 例（同様に各施設より 10-20 例ずつを対象とする）、非機能性副腎皮質腫瘍：50 例（各施設より 5 例ずつ）、副腎皮質癌：50 例（各施設より 5 例ずつ）、非腫瘍部の副腎組織：100 例（各施設より 10 例ずつ）

【研究の目的・方法】

※試料・情報の利用目的や利用方法も分かるように記載すること。

※試料・情報の管理について責任を有するものの氏名または名称を記載すること。

本研究は、機能性副腎皮質疾患におけるホルモン過剰を来す原因を解明する事を目的とした研究である。病変におけるホルモン産生に関与するステロイド合成酵素やそれらに関連した因子の発現動態を検討し、新たな治療標的因子となり得るマーカーの探求を行う。具体的には病理組織標本を用いて免疫組織化学的手法や遺伝子変異解析等を行い、臨床病理学的因子（血中/尿中のホルモン値、CT等の画像所見、生理学的検査所見や病理組織学的評価（Weissの基準等））と比較検討を行い、臨床的な有用性を検証する。

【研究に用いる試料・情報の種類】

情報；年齢、性別、原病に関する病歴および治療歴、内分泌学的検査所見等

試料：摘除された副腎検体、等

【外部への試料・情報の提供】

※どのような方法で提供又は公表を行うのかが研究対象者等に分かるよう必要な範囲でその方法（記録媒体、郵送、電子的配信、インターネットに記載等）も含むこと。

直接手渡し・郵送・宅配

【試料・情報を利用する者の範囲】

※当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者を記載する。（既存試料・情報の提供を行うものが含まれる場合は、当該者の氏名及び機関の名称も含む。）ただし、利用するものが多く、全ての列挙が困難な場合にはホームページ等にて掲示することにより代替可能。

研究責任者

笹野公伸 職名：教授

東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野

〒980-8575

住所 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL 022-717-8050 FAX 022-717-8051

E-mail hsasano@patholo2.med.tohoku.ac.jp